

情報公開文書

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

移植後シクロホスファミドを用いた HLA 半合致移植の非再発死亡を予測する スコアの開発に関する研究

1. 研究の対象

日本造血細胞データセンターが実施する「造血細胞移植医療の全国調査」研究に参加し、同意を得た患者のうち、2013 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに HLA 半合致同種造血幹細胞移植を施行された症例

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2030 年 4 月 10 日 まで
25 7.4

3. 研究目的・方法

目的 移植後シクロホスファミドを用いて HLA 半合致同種造血幹細胞移植における非再発死亡のリスク因子を明らかにすることを目的としています。

方法 この研究に使用する情報として、一元管理データベースから項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきます。このデータベースには氏名、生年月日などの個人を直ちに特定できる情報は含まれていません。また、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

・診療情報等:年齢、性別、PS(全身状態スコア)、診断、同種移植前病期、HLA、ド

ナーソース(幹細胞源)、ドナー情報、前処置、Graft-versus-host disease (GVHD) 予防法、HCT-CI(合併症スコア)の各項目、感染症の有無、診断から移植までの期間、急性および慢性 GVHD の発症率、移植後合併症の発症の有無、症例の転帰、死亡原因、最終生存確認日

・試料はなし

5. 情報の提供先・提供方法

上記の診療情報等が日本造血細胞データセンターより、研究実施施設である東海大学医学部内科学系血液・腫瘍内科学領域に電子的配信にて提供されます。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 (電話：代表 0463-93-1121 内線：2237)

研究責任者 血液腫瘍内科 鬼塚 真仁

問い合わせ担当者 血液腫瘍内科 原田 介斗

メールアドレス：kharada@tokai.ac.jp